

第8回キールボート強化委員会議事録

2012年1月31日(火)

ちよだプラットフォームスクウェア 401 会議室

- ◆委員長：中澤信夫 副委員長：久保田悟(議長) 金子純代
事務：熊谷一樹 村井梨恵 書記：中山遼平
- ◆出席者(順不同)：児玉萬平 豊崎謙 斉藤威 田中正昭 石黒建太郎 畠山知己 上松慮生
古川龍文 浅野英彦

- ◆開会 19:10
- ◆理事会及び外洋会議の報告(中澤・児玉)
 - ・ ユース世代制式艇種の変更が可決。将来的にシングルハンドはレーザー級、ダブルハンドは420級に変更される。
 - ・ JSAF 外洋推進グループのホームページ「on Breeze」が1月よりオープン。
 - ・ JSAF 外洋合同会議が2月4-5日に宮城県松島で開催予定。
 - ・ 国際VHFの普及状況。

- ◆JSAF 理事会宛て提言書の承認
 - ・ 外洋系やレース志向ではないキールボートセーラーにもアピールできるコンテンツが欲しい。(児玉・斉藤)
 - ・ 最後の部分に、今後の展望と来年度に向けた抱負を入れてほしい。(児玉)
 - ・ 全体的な流れが見える構成にしたい。広い話と細かい話を使い分ける。(豊崎)
 - ・ 日本財団の助成金が、今年は葉山のファミリーレースに認められなかった。今後、OPやJ24など様々な艇種を一緒に使用するなど、幅広い層を対象とした普及活動をできないか。(斉藤)
 - ・ 将来的にジャパンレースウィークといった試みを目指す、まずはキールボート参入の機会の創出やメディアへの広報活動を継続して行う必要がある。(中澤)
 - ・ 事務局で最終推敲を行い、次回の理事会で提出する予定。

- ◆平成24年度事業計画及び予算の承認(中澤)
 - ・ 将来的には各事業が当委員会から独立して行えるようにする。
 - ・ 当委員会のJSAF内でのカテゴリーは、当委員会の目的からして、外洋系ではなく現在の普及・強化のままでいいのではないか。

- ◆キールボートシリーズ相模湾2012(畠山)
 - ・ 初回となる2月5日の湘南・リビエラレースは、トライアルであり年間シリーズへのポイン

ト加算は行わない。

- ・ まだ参加艇数が少ないので、PR 活動を増やしていく。

◆大学マッチ(石黒)

- ・ 日本経済大, 関西学院大, 日本大, 早稲田大, 慶應大, 同志社大, さらに立候補があった金沢大とワイルドカード枠で東京大(仰秀)とマッチレーサーの吉田工作氏の計9チームの参加が決定。
- ・ 1月28・29日に第1回マッチ講習会を三崎マリンで開催。4大学が参加した。
- ・ 10チームのヨットオーナーから、計100万円のスポンサー協力が得られ、現状エントリーフィーと合わせて必要経費は確保できそう。冠スポンサーについては、引き続き探市中。
- ・ まずは若いセーラーにキールボートの楽しさを知ってもらおう。その後キールボートに参入してもらえるスキームを作ることが大切。ヨットオーナーや全日本学連に働きかけていく必要がある。
- ・ 2012年9月に仏ニュースで開催される、World University Championship Match Racing への代表選考を兼ねる案について、関係各所と協議していく。
- ・ OB 枠を認めていることから、略称を「学生マッチ」から「大学マッチ」に変更。
- ・ 大学マッチのHPが近々オープンする予定。

◆BMW オークランドレガッタ(中澤)

- ・ パシフィックキールボートチャレンジ2012は参加チーム不足により中止となり、代わりに、従来のBMW オークランドレガッタ(3月22-25日)にオープン参加のFarr MRXクラスを設けて、海外チームを招致する形式となった。
- ・ ヨットクラブ対抗ではなく、JSAFへのインビテーションもなくなり、JSAFとして代表を送る理由が曖昧なこと、またエントリー締切りが近くスケジューリングが難しいことから、今大会は代表を派遣しない。

◆閉会 20:40

- ◆次回委員会の開催日程： 2月29日19:00-